

# ETF バランス・ファンド

追加型投信／内外／資産複合

日経新聞掲載名：ETFバラF

2020年8月27日から2021年8月26日まで

第 8 期 決算日：2021年8月26日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは上場投資信託証券(ETF)等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託(リート)等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当期の状況

基準価額(期末)	12,415円
純資産総額(期末)	800百万円
騰落率(当期)	+5.2%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
 受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年8月27日から2021年8月26日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	11,798円
期末	12,415円 (分配金0円(税引前)込み)
騰落率	+5.2% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因(2020年8月27日から2021年8月26日まで)

当ファンドは上場投資信託証券(ETF)等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託(リート)等に投資しました。運用にあたっては、市場のリスク選好状況を定量的に捉え、機動的な資産配分を行っております。債券部分は、米ドル売り・円買いの為替ヘッジを行い、株式・リート部分は、原則として対円での為替ヘッジを行っておりません。

#### 上昇要因

- 日本を含む主要先進国、新興国の株式市場、およびグローバルリート市場が上昇したこと
- 新興国債券市場が上昇したこと
- 主要通貨に対して円安が進行したこと

## 1万口当たりの費用明細 (2020年8月27日から2021年8月26日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	77円	0.638%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は12,025円です。
(投信会社)	(37)	(0.308)	投信会社: ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(36)	(0.297)	販売会社: 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	受託会社: ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	11	0.089	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(11)	(0.089)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税: 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	4	0.031	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.025)	保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査費用: 監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他: 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	92	0.759	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

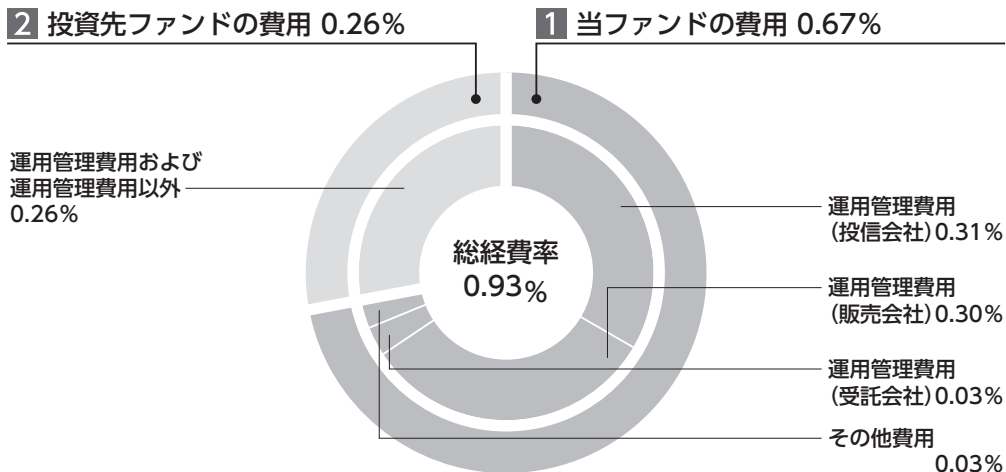
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1+2)	0.93%
1 当ファンドの費用の比率	0.67%
2 投資先ファンドの費用の比率	0.26%

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

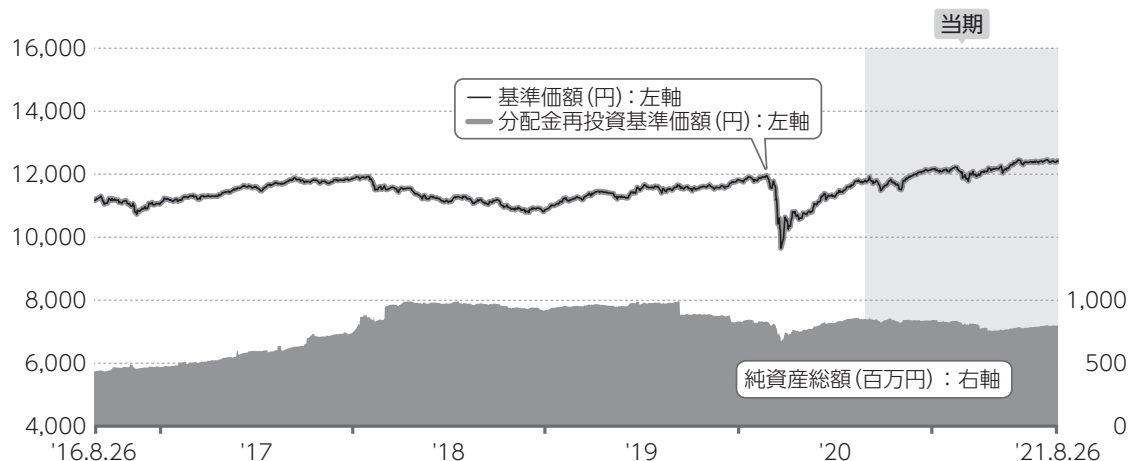
※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は0.93%です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について(2016年8月26日から2021年8月26日まで)

## 最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2016年8月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

		2016.8.26 決算日	2017.8.28 決算日	2018.8.27 決算日	2019.8.26 決算日	2020.8.26 決算日	2021.8.26 決算日
基準価額	(円)	11,166	11,782	11,187	11,487	11,798	12,415
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	5.5	-5.1	2.7	2.7	5.2
純資産総額	(百万円)	435	616	974	976	850	800

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 投資環境について(2020年8月27日から2021年8月26日まで)

期を通してみると、日本を含む主要先進国株式、新興国株式市場はそれぞれ上昇しました。債券市場では、先進国債券市場では米国で利回りが上昇する一方で、日本では利回りが低下しました。新興国債券市場は上昇しました。グローバルリート市場は上昇しました。外国為替市場では、米ドルやユーロなど主要通貨に対して円が下落しました。新興国通貨は、トルコリラは円に対して下落しましたが、その他の新興国通貨は概ね円に対して上昇しました。

---

## 株式市場

### ●先進国外国株式

先進国の外国株式は、大幅に上昇しました。新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念等を背景とした株価調整からの反動に加え、世界の主要国政府・中央銀行の政策対応等を好感しました。その後、感染拡大に対する懸念等が引き続きくすぶったものの、主要国の政策対応の継続やワクチン接種の進展に伴う経済回復に対する期待等を背景に、株式市場は堅調に推移しました。

### ●国内株式

国内株式は、日本銀行の金融緩和スタンスが維持される中、米国を中心とした株価上昇等に連れる形で、期を通じて大幅に上昇しました。

### ●新興国株式

新興国株式は、世界各国の中央銀行による

金融緩和策の実施等を背景とした投資家心理の改善などを受け、堅調に推移しました。期間の後半には、変異型ウイルスの感染拡大による新興国景気への懸念等を背景に下落しましたが、期間を通してみれば上昇となりました。

---

## 債券市場

### ●先進国外国債券

米国内債利回りは、前期にみられた利回り低下の反動に加え、経済活動の再開や、堅調な企業業績などを背景に株価が堅調に推移したこともあり、上昇傾向で推移しました。期末にかけては、インフレ期待の低下などを受け、債券利回りは低下しました。期間を通して見ると上昇しました。

欧州では、感染再拡大や、英国のEU(欧州連合)離脱に伴う通商協定交渉の行方に関する不透明要因(12月下旬に合意)等を背景にドイツ国内債利回りは年末までは低下基調

で推移しました。年初から5月にかけては、欧州景気への改善期待等から債券利回りが上昇しました。6月以降は、米国金利の低下に連れて低下しました。ドイツ国債利回りは期間を通してみれば、概ね横ばいでした。

### ●国内債券

日本の長期債利回り(10年国債利回り)は、小幅に低下しました。世界的な株価上昇や米国債券利回りの上昇が影響した一方、日銀による金融緩和が続く中で感染拡大懸念もくすぶり、方向感に乏しいもみ合い相場となりました。年末から2月にかけては、海外債券利回りの上昇を受け、債券利回りは上昇傾向で推移したものの、3月以降は、日銀の金融緩和策継続の動き等を背景に、金利は小幅に低下しました。

### ●新興国債券

世界各国の中央銀行による金融緩和の継続や世界的な株価の上昇等がサポート要因となり、期を通して概ね底堅く推移しました。

---

## リート市場

### ●グローバルリート

グローバルリート市場は、ワクチン接種の進展や世界的な株価上昇に伴う投資家心理改善の動き、主要先進国中銀の金融緩和スタンスの継続等を背景に、期間を通じて上昇傾

向で推移しました。Jリート市場も概ねグローバルリート市場に連れた動きとなりました。

---

## 外国為替

### ●米ドル・円

米ドル・円は、期を通してみれば米ドル高・円安となりました。期初から2020年12月下旬まではF R B(米連邦準備制度理事会)による金融緩和スタンスの継続等を背景に、米ドルが緩やかに下落しました。年末以降には、米国長期金利の上昇傾向などから、総じて米ドルは底堅く推移しました。

### ●ユーロ・円

ユーロ・円は、期を通してみればユーロ高・円安となりました。期初から年内にかけてはもみ合いで推移しました。その後、年明け以降から5月下旬にかけては、欧州景気の回復期待などを背景にユーロが上昇する展開となりました。6月以降は、世界的な感染拡大を受け、リスク回避的な動きが強まると、期末にかけてユーロは下落しました。

### ●新興国通貨

新興国通貨は、世界各国の中央銀行による金融緩和やワクチン接種の進展等を背景とした投資家心理の改善等から、メキシコペソや南アランドなどの通貨が円に対して、大幅上昇しました。期中に政策金利を引き上げた



ブラジルリアルも、円に対して上昇しました。一方、中央銀行総裁の解任等を背景に、トルコリラは円に対し下落しました。

### ポートフォリオについて (2020年8月27日から2021年8月26日まで)

期間を通じた資産配分方針の変更は、以下の通りです。

期初は、市場は株式に対して強気の局面との判断から、債券の組入比率を70%、株式・リートの組入比率を30%とする資産配分としました。

市場のリスク選好状況を判断する上で使用するリスク態度指数は、高位での揉み合いとなっておりましたが、2020年9月以降、米国大型テクノロジー株の調整や新型コロナウイルス感染再拡大を受けた欧州株の下落を受けて水準を切り下げました。10月下旬には、リスク態度指数が低下基調に向かったことから、市場の株式に対する強気姿勢が後退しつつあると判断し、債券の組入比率を80%へ引き上げ、株式・リートの組入比率を20%へ引き下げました。

その後、リスク態度指数は底打ちの動きとなりましたが、基調として下落しているとの見方は変わらず、12月中旬に、市場が株式に対する弱気局面に入ったとの判断から、債券の組入比率を90%、株式・リートの組入比率を10%とする資産配分に変更しましたが、その後リスク態度指数が底入れから反発

の動きを鮮明にしたため、市場が株式に対し強気に向かいつつあると判断し、2021年初に、債券の組入比率を80%、株式・リートの組入比率を20%とする資産配分に変更しました。そして2月中旬に、米国での財政協議の進展や、ワクチン普及に向けた動きを受けた景気改善期待、良好な企業決算などを受け、リスク態度指数の上昇基調が定着したことから、市場が株式に対し強気局面に入ったと判断し、債券の組入比率を70%へ引き下げ、株式・リートの組入比率を30%へ引き上げました。

6月になると、景気や企業業績の改善のモメンタム(勢い)が一巡する中、一部の株式市場で上値の重たい展開となり、リスク態度指数が低下基調に向かいました。それを受け、6月下旬に市場の株式に対する強気姿勢が後退しつつあると判断し、債券の組入比率を80%、株式・リートの組入比率を20%とする資産配分に変更し、更に8月上旬には、市場が株式に対して弱気局面に入ったとの判断から、債券の組入比率を90%、株式・リートの組入比率を10%とする資産配分に変更しました。

## ベンチマークとの差異について(2020年8月27日から2021年8月26日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 分配金について(2020年8月27日から2021年8月26日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第8期
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,671

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

上場投資信託証券(ETF)等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託(リート)等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

リスク態度指数は、グローバル景気改善モメンタムの低下や感染拡大を受け、方向感に乏しい動きとなっており、当面は債券の組入比率を90%、株式・リートの組入比率を10%とする資産配分を維持する予定です。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

●投資対象ファンドの名称変更に伴い、信託約款に所要の変更を行いました。

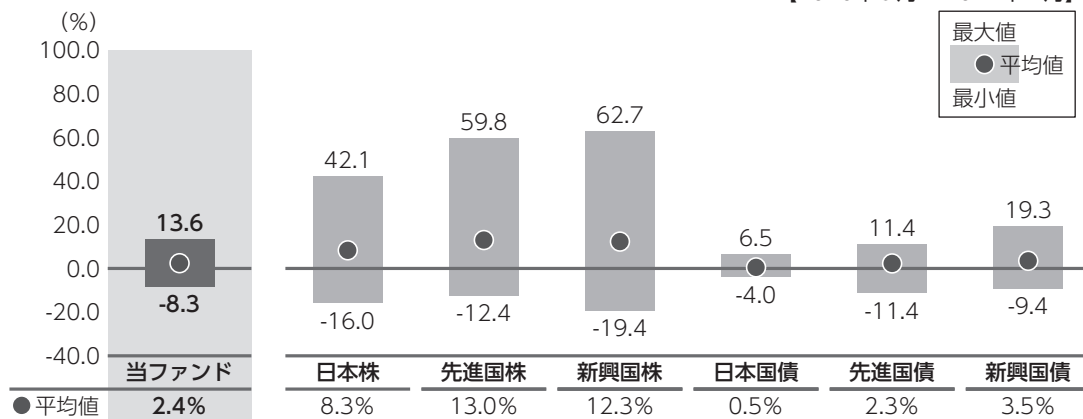
(適用日：2020年10月30日)

## 4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	2013年8月28日から2028年8月28日まで
運 用 方 針	上場投資信託証券(ETF)等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託(リート)等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	上場投資信託証券(ETF)等
当 法 ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主として、上場投資信託証券(ETF)等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託(リート)等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。</li> <li>■運用にあたっては、市場のリスク選好状況を定量的に捉え、機動的な資産配分を行います。</li> <li>■債券部分は、原則として米ドル売り円買いの為替ヘッジを行います。</li> </ul>
組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年1回(原則として毎年8月26日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div>

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

【2016年8月～2021年7月】



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

日本株	<b>TOPIX (配当込み)</b> 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
先進国株	<b>MSCI コクサイインデックス (グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	<b>MSCI エマージング・マーケット・インデックス (グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	<b>NOMURA-BPI (国債)</b> 野村証券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	<b>FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)</b> FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	<b>JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)</b> J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

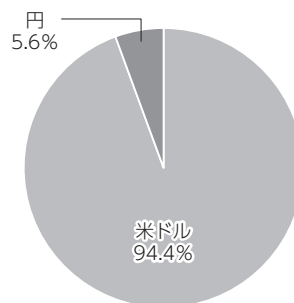
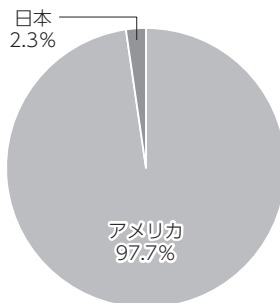
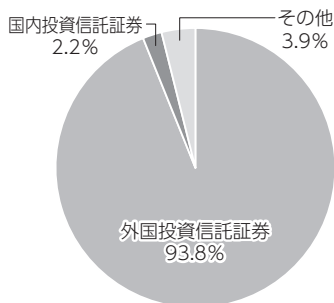
当ファンドの組入資産の内容 (2021年8月26日)

### 組入れファンド等

銘柄名	組入比率
iシェアーズ J. P. モルガン・米ドル建てエマーヅング・マーケット債券 ETF	43.5%
iシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF	21.6%
iシェアーズ 世界国債(除く米国)ETF	21.5%
iシェアーズ MSCI コクサイ ETF	2.4%
バンガード・FTSE・エマーヅング・マーケットETF	2.4%
NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	2.2%
バンガード・リアル エステイト ETF	1.2%
iシェアーズ 先進国(除く米国)REITETF	1.2%
コールローン等、その他	3.9%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

## 純資産等

項目		第8期末 2021年8月26日
純資産総額	(円)	800,024,319
受益権総口数	(口)	644,412,495
1万口当たり基準価額	(円)	12,415

※当期における、追加設定元本額は138,239,156円、解約元本額は214,945,518円です。

## 組入上位ファンドの直近決算概要(当ファンドの計算期間とは異なります)

i シェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETF  
(2019年11月1日~2020年10月31日)

## 基準価額(外貨建て)の推移



※分配金再投資ベース

## 基準価額(円建て)の推移



※分配金再投資ベース

※外貨建ての基準価額を日本の対顧客電信売買相場の仲  
値で邦貨換算しています。

## 組入上位10銘柄

(2020年10月31日現在)

	銘柄名	国	クーポン	償還日	比率
1	RUSSIAN FEDERATION RegS 5.25% 6/23/2047	ロシア連邦	5.25%	2047/6/23	0.9%
2	URUGUAY (ORIENTAL REPUBLIC OF) 5.1% 6/18/2050	ウルグアイ	5.1%	2050/6/18	0.8%
3	KUWAIT STATE OF (GOVERNMENT) MTN RegS 3.5% 3/20/2027	クウェート	3.5%	2027/3/20	0.8%
4	ECUADOR REPUBLIC OF (GOVERNMENT) RegS 0.5% 7/31/2035	エクアドル	0.5%	2035/7/31	0.7%
5	QATAR (STATE OF) RegS 5.1% 4/23/2048	カタール	5.1%	2048/4/23	0.7%
6	PERU (REPUBLIC OF) 5.63% 11/18/2050	ペルー	5.63%	2050/11/18	0.6%
7	QATAR (STATE OF) RegS 4.82% 3/14/2049	カタール	4.82%	2049/3/14	0.6%
8	COLOMBIA REPUBLIC OF (GOVERNMENT) 5% 6/15/2045	コロンビア	5%	2045/6/15	0.6%
9	URUGUAY (ORIENTAL REPUBLIC OF) 4.98% 4/20/2055	ウルグアイ	4.98%	2055/4/20	0.5%
10	PERU (REPUBLIC OF) 8.75% 11/21/2033	ペルー	8.75%	2033/11/21	0.5%

※比率は純資産総額に対する割合

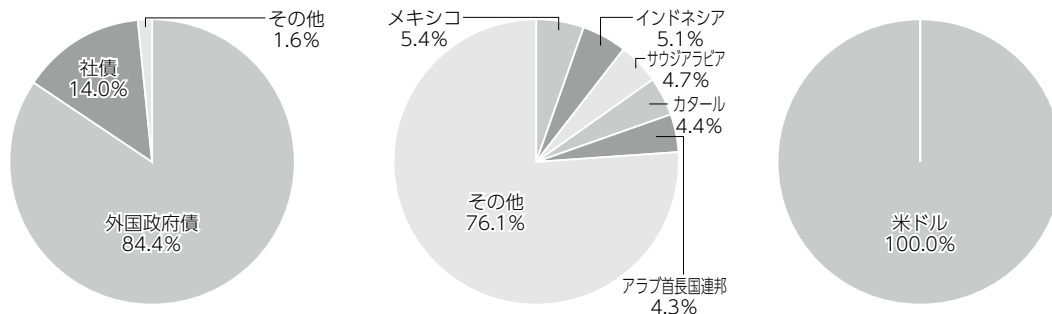
## (ご参考) 費用明細

(2019年11月1日から2020年10月31日)

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.38%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

**資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(ポートフォリオ比)**


※国別配分は原則発行国もしくは投資国を表示しています。

※2020年10月31日現在



i シェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF (2020年3月1日～2021年2月28日)

基準価額(米ドル建て)の推移



※分配金再投資ベース

基準価額(円換算)の推移



※分配金再投資ベース

※米ドル建ての基準価額を日本の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算しています。

組入上位10銘柄

(基準日：2021年2月28日)

	銘柄名	クーポン	満期日	組入比率
1	UMBS 30YR TBA(REG A)	2.00%	2021/3/11	1.1%
2	FNMA 30YR 2020 PRODUCTION	2.50%	2050/8/1	0.8%
3	UMBS 30YR TBA(REG A)	2.00%	2021/4/14	0.8%
4	FNMA 30YR 2016 PRODUCTION	3.00%	2046/12/1	0.6%
5	UMBS 30YR TBA(REG A)	2.50%	2021/4/14	0.6%
6	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	2.50%	2024/5/15	0.6%
7	TREASURY NOTE	0.38%	2025/11/30	0.6%
8	GNMA2 30YR 2020 PRODUCTION	2.50%	2050/8/20	0.5%
9	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	1.50%	2026/8/15	0.5%
10	TREASURY NOTE (OLD)	0.88%	2030/11/15	0.5%

※比率は純資産総額に対する割合

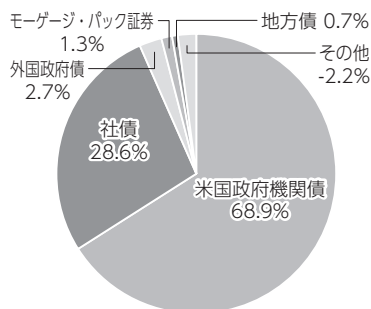
**(ご参考)費用明細**

(2020年3月1日～2021年2月28日)

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.03%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

**資産別配分(ポートフォリオ比)**

※国別配分および通貨別配分については、入手できるデータがないため記載していません。

※基準日は2021年2月28日です。

i シェアーズ 世界国債(除く米国) E T F (2019年11月1日～2020年10月31日)

基準価額(米ドル建て)の推移



※分配金再投資ベース

基準価額(円換算)の推移



※分配金再投資ベース

※米ドル建ての基準価額を日本の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算しています。

組入上位10銘柄

(基準日：2020年10月31日)

	銘柄名	種類	国	クーポン	償還日	比率
1	DENMARK (KINGDOM OF)	財務省証券	デンマーク	4.50%	2039/11/15	1.8%
2	SWEDEN (KINGDOM OF)	財務省証券	スウェーデン	3.50%	2022/6/1	0.7%
3	DENMARK (KINGDOM OF)	財務省証券	デンマーク	0.50%	2029/11/15	0.7%
4	SWEDEN (KINGDOM OF)	財務省証券	スウェーデン	1.50%	2023/11/13	0.7%
5	IRELAND (REPUBLIC OF) RegS	財務省証券	アイルランド	2.40%	2030/5/15	0.6%
6	SWEDEN (KINGDOM OF)	財務省証券	スウェーデン	2.50%	2025/5/12	0.6%
7	DENMARK (KINGDOM OF)	財務省証券	デンマーク	0.50%	2027/11/15	0.6%
8	ISRAEL (STATE OF)	財務省証券	イスラエル	5.50%	2042/1/31	0.5%
9	SWEDEN (KINGDOM OF)	財務省証券	スウェーデン	3.50%	2039/3/30	0.5%
10	SWEDEN (KINGDOM OF)	財務省証券	スウェーデン	1.00%	2026/11/12	0.5%

※比率は純資産総額に対する割合

## (ご参考)費用明細

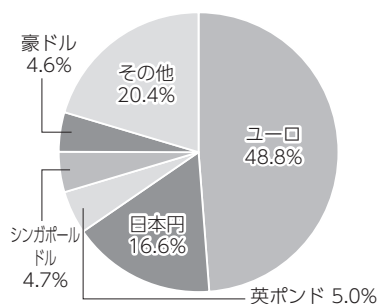
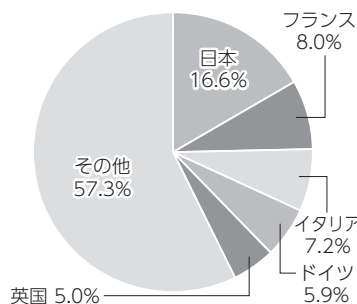
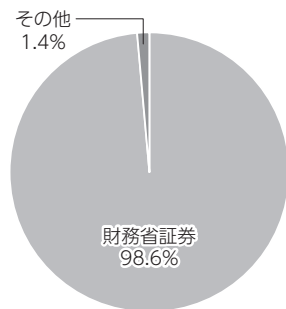
(2019年11月1日～2020年10月31日)

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.35%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(ポートフォリオ比)



※国別配分は原則発行国もしくは投資国を表示しています。

※基準日は2020年10月31日です。